

# みさと 市議会だより



No. 165

2016年5月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関です

## ドキドキ わくわく 笑顔でハイ!

### 主な内容 平成28年3月定例会

- ・ 論点「いじめ防止等対策に関連する議案を審議」・・・ 2
- ・ 平成28年度予算の審査概要・・・ 4
- ・ 市政に対する一般質問・・・ 8
- ・ 3月定例会提出議案とその結果・・・ 14
- ・ 国・政府に要望・・・ 15
- ・ 読者の声、議会あれこれ・・・ 16

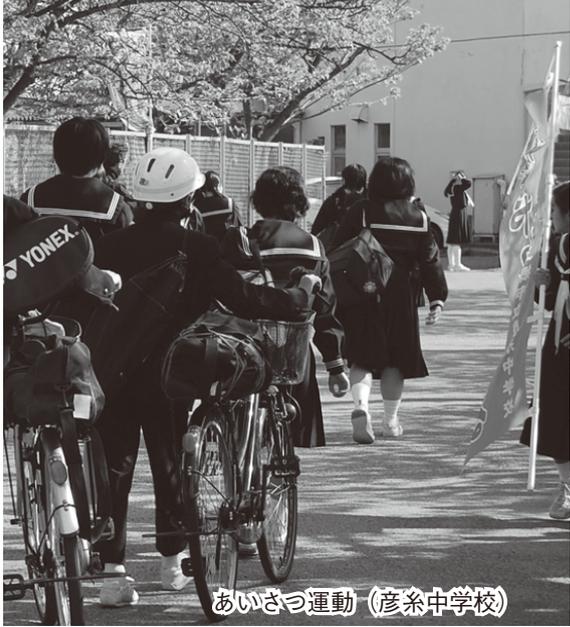
# 論点

3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

## いじめ防止・早期発見・

## 早期対応を効果的に推進

# 成長できる三郷の学校



あいさつ運動 (彦糸中学校)



社会を明るくする運動 (前谷小学校)

3月定例会  
3/1~23

3月定例会には、市長から「三郷市いじめ問題対策連絡協議会条例」など37議案が提出され、原案どおり可決しました。

議案第24号 三郷市いじめ問題対策連絡協議会条例

議案第25号 三郷市いじめ問題調査委員会条例

議案第26号 三郷市いじめ問題再調査委員会条例

【内容】「いじめ防止対策推進法」の施行に伴い、いじめ問題について、必要な事項を協議する機関や重大事態に対応する調査機関を設置するものです。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 3つの議案の関連性は。

答 三郷市いじめ問題対策連絡協議会は毎年開催し、市内小・中学校の状況を適切に把握するとともに、いじめの早

期発見、早期対応等について

対策を協議する。さらに、「三郷市いじめの防止等のための基本的な方針」の見直しや改善を行う。いじめ問題調査委員会は、教育委員会の附属機関として、重大事態（生命、心身または財産に重大な被害）が発生した場合に調査を行う。いじめ問題再調査委員会は、市の附属機関として調査委員会が調査した結果等について市長の諮問に応じて調査・審議する。

問 いじめの認知件数やその対応は。

答 いじめが疑われるケースを含めて今年度は12月現在、小学校5件、中学校2件の報告があった。教育委員会では学校に調査、指導を行い、学校現場で解決を図っている。

### 【三郷市いじめの防止等のための基本的な方針の概要】

- いじめの定義やいじめの防止等の対策のため、市・学校等が実施する取り組みなどを明記しました。
- 関係機関によるいじめ防止等のための連絡協議会や重大事態が生じた場合に調査を行う委員会などを設置します。
- 市、教育委員会、市立小・中学校、家庭、地域住民その他関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指します。

# 子供たちが安心して健やかに



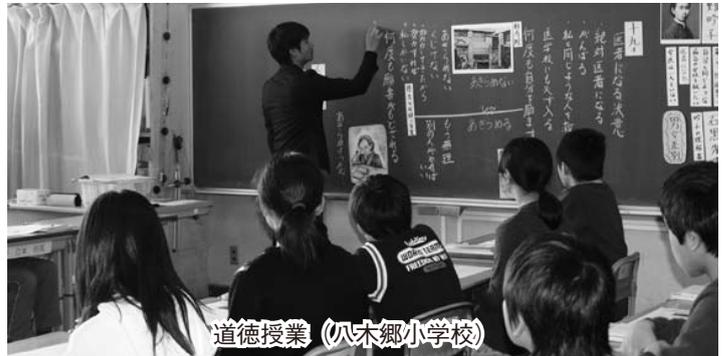
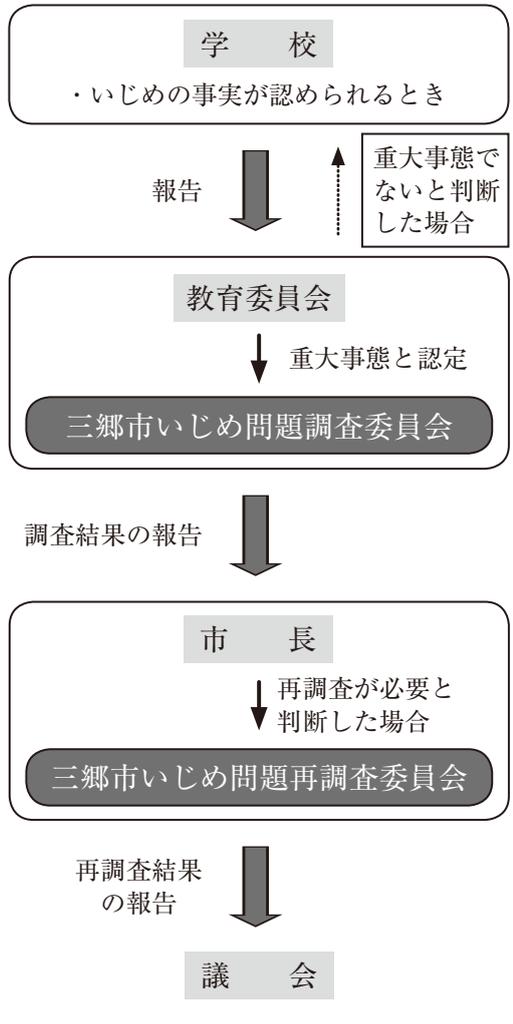
花がいっぱいの学校づくり (北中学校)



子どもフォーラム (鷹野小学校)



## いじめ事案・重大事態への対処



道徳授業 (八木郷小学校)

**問** それぞれの委員構成は。  
**答** 連絡協議会は学校の校長、代表、市の職員、関係行政機関の職員等である。調査委員会及び再調査委員会は、教育、法律、心理等についての専門的知識及び経験を有する第三者で、公平性、中立性が確保できるかたである。それぞれ別のかたが委嘱される。

**問** いじめの重大事態とは。  
**答** 基本方針では①児童生徒が自殺を企てた場合、②身体に重大な障害を負った場合、③金品等に重大な被害を負った場合、④精神性の疾患を発症した場合を重大事態として

**問** 症した場合を重大事態として  
**答** いる。問題発生時に、学校は教育委員会に、教育委員会は市長に報告する。

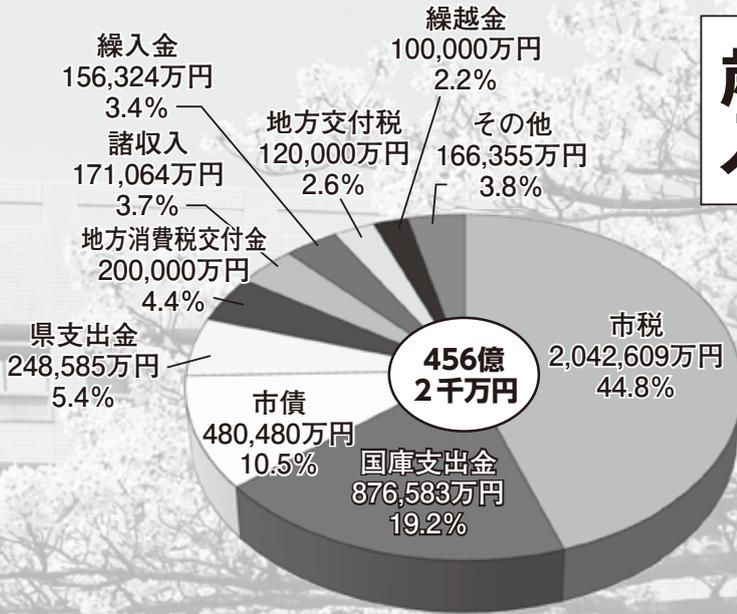
**問** 基本方針はどのように生かされていくのか。  
**答** 小・中学校で定めた「学校いじめ防止対策基本方針」の見直しに生かすとともに、今後も継続していじめの早期発見、早期対応に努める。

**最終結論を出す本会議では、** 常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成ですべて可決しました。

# 平成28年度一般会計予算を可決

## 予算規模は過去最大

### 歳入



おもな歳入区分	説明
市税	市民税、固定資産税など
国庫支出金	特定の事業に対して国から交付
市債	市が長期にわたって借りるお金
県支出金	特定の事業に対して県から交付
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付
繰入金	基金からの繰り入れ
地方交付税	財政状況に応じて国から交付
繰越金	前年度一般会計からの繰り越し

3月定例会では、平成28年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ5億2000万円（1.2%）の増額となる、456億2000万円（9年連続で前年度を上回る予算となります）。

議案をくわしく審査するために開かれた、総務・市民福祉・文教経済・建設水道の各常任委員会での平成28年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。



※3月定例会初日に市長から当初予算の大意となる「施政方針」の表明がありました。



木津雅晟 市長

平成28年度 施政方針

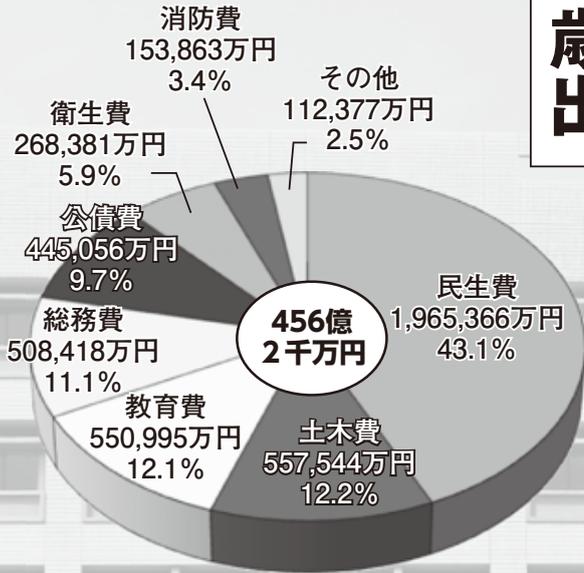
きらりとひかる 田園都市みさと  
～人にも企業にも  
選ばれる魅力的なまち～

本年は、私が市民の皆様からの信任をいただき、市政運営を担い10年目の節目の年にあたります。市長就任以来、市民目線を忘れずに、総合的かつ計画的なまちづくりに取り組んでまいりました。

これまで進めてまいりました3地区の土地区画整理事業などまちづくりが功を奏し、本市の財政基盤の強化につながったことから、平成28年度も積極的な予算を組むことができました。

今年度からスタートする「第4次三郷市総合計画後期基本計画」に、新たに都市軸道路及び(仮称)三郷流山橋の早期実現、上口調節池を利用した公認陸上競技場の整備、三郷料金所スマートインターチェンジの機能拡充などの施策を位置づけ、取り組んでまいります。

歳出



歳出区分	説明
民生費	高齢者、児童、障がい者などの福祉事業費など
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
教育費	学校教育費、「日本一の読書のまち」推進事業など
総務費	防災や防犯、マイナンバーカード交付、市税の課税徴収など
公債費	市債の返済金
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

◆平成28年度の主な新規事業◆

- 水路整備事業 (排水基本計画策定)
- 耐震診断・耐震改修等費用助成事業 (分譲マンション耐震診断費補助等)
- 消防訓練施設整備事業 (訓練塔建設設計委託)
- 都市公園等維持管理事業 (公園施設長寿命化計画策定業務委託)
- 三郷料金所スマートインターチェンジ機能拡充事業
- 個別予防接種事業 (子どもの予防接種・自動スケジューラー)
- 子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター業務委託)
- しいのみ学園運営事業・発達支援センター事業 (施設の法定化)
- 農業経営・生産支援事業 (農業振興施策推進支援業務)
- 進路指導・キャリア教育事業 (JOCオリンピック教室開催)
- 観光振興事業 (ふるさと納税お礼品PR冊子作成・配布)



## 災害・イベントなどの 行政情報をメールで配信

### 《総務常任委員会》

歳入では、ふるさと寄附金は平成28年2月末で183万円となっている。今後、市民のかたがどれぐらい市外に寄附をしているのかを確認し、効果的に広報活動を行いたい。

歳出では、災害、防犯、イベントなどの行政情報をメール配信するサービスを開始する。今後市民に登録方法などを広報等でお知らせする。

新たに選挙権を得るかた全員、約2600人に対してリーフレットの送付を6月下旬ごろ予定しているとのことでした。

このほか、町名地番等の表示、にぎわい創出プロジェクト、消防団の活動強化などについて審議しました。

討論として、「地方交付税に関して、政府へトツプランナー方式導入の中止申し入れ」などがありました。

## 多子世帯・ひとり親家庭 の保育料軽減制度を拡充

### 《市民福祉常任委員会》

多子世帯の保育料は、年収約360万円未満の世帯については、対象となる子どももの年齢制限が撤廃され、第2子が半額、第3子以降は無償化となる。ひとり親家庭は、年収約360万円未満の世帯については、第1子が半額、第2子以降は無償化となる。



子育て支援を充実

平成28年度は、がん検診の受診率向上に向けて、胃がん検診での内視鏡検査を引き続き実施する。また、女性がん検診実施日の一部で、節日年齢のかたを対象に、骨粗鬆症検診の実施を考えている。

障害福祉サービス給付事業の児童通所サービスの予算額が大幅に増加した理由は、制度が浸透してきたことや、サービス提供をする事業所が増え、利用者が増えているためであるとのことでした。

討論として、「市民要望に積極的に応える事業がないことから反対する。18歳までの医療費を無償化するなど経済的支援の強化を要望する」などがありました。

## 「におどり」製造 見学バスツアーを募集

### 《文教経済常任委員会》

合併処理浄化槽転換整備は、県の補助制度の見直しを図られ、中川・綾瀬川の流域にある三郷市に対して、整備重点地区地域の指定があり、個人負担が約20万円減になる。

「におどり」の製造工程を見学するツアーを11月中旬ごろ募集し、そば打ち体験等とあわせて実施予定である。

半田エリアの農業用水に機械式ゲートを設置し、農業用水の機能を確保しながら水害対策につなげる。

入学準備金貸付事業では、1世帯1人の貸付から、1世帯複数人数への貸付を検討している。

日本一の読書のまち推進事業では、郷土を愛する心を育むため、三郷に伝わる民話を一般向けに頒布することとした。

討論として、「各学校での読書・学習習慣を育てる取り組みを期待する。給食におけるアレルギー対策の強化を。素晴らしい技術を持った企業に支援策を」などがありました。

## 公園施設の 長寿命化計画を作成

### 《建設水道常任委員会》

都市公園等維持管理事業では、開設後20年を経過した公園36か所について、遊具等の公園施設長寿命化計画を作成する。公園の維持管理の状況や、施設の健全度を把握し、計画的に修繕を行うためのものである。



第13回 みさと今昔巡り  
(三郷半用水)



モンドセレクション3年連続金賞受賞

平成28年度

# 特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

## 国民健康保険

歳入歳出 199億1,381万円

### 【特定保健指導を民間事業者に委託】

審査では、特定保健指導を民間事業者に委託をする。医師会と実施内容は同じで、改善が必要なかたへの保健指導や栄養指導を行う。医療機関の2か所、民間事業者の1か所の中から選択することができるとのことでした。

討論として、「特定健診の受診率向上に取り組むよう要望する」などがありました。

## 後期高齢者医療

歳入歳出 11億6,793万円

### 【平成28年度は保険料が改定】

審査では、平成28年度・29年度の保険料が改定され、剰余金を利用することにより、均等割額は減、所得割額は増となった。三郷市の一人あたりの保険料額は、7万3,265円となるとのことでした。

討論として、「特定健診の受診率向上に取り組むよう要望する」などがありました。

## 介護保険

歳入歳出 71億6,449万円

### 【認知症サポーターが増えています】

審査では、認知症サポーターは、平成28年2月末現在、2,518名で、平成27年度当初からは824名増えている。小学校や吉川警察署などでも養成講座を開催しており、引き続き、普及啓発事業を推進していくとのことでした。

討論として、「特別養護老人ホームの入所が要介護3以上になったことなど、安心してサービスを利用できる仕組みが後退しているため反対する」などがありました。

## 上水道事業

収入 30億415万円 支出 34億6,096万円\*

### 【老朽管の布設替工事を継続】

審査では、老朽管の布設替え工事に伴い、新しく布設している水道配水管は、耐用年数が既設のものより長くなっている。漏水は給水収益にも影響するので、できるだけ早く布設替えができるようにしたいとのことでした。

討論として、「分担金は市民が直接払ったものであり、収益的収入とするべきである」などがありました。

※上水道事業の収入・支出は、収益的および資本的収入・支出の合計額です。

## 公共下水道事業

歳入歳出 47億6,060万円

### 【下水道事業が地方公営企業会計に移行】

審査では、平成31年度までに下水道事業を公営企業の会計方式に移行する。総務省からの指示により、透明性の向上を図るものである。28年度は、下水道で持っているすべての資産の洗い直しなどを行うとのことでした。

討論として、「利潤を追求するための企業会計方式を自治体に適用することは、問題がある」などがありました。



遊具等の公園施設を計画的に修繕

橋りょう維持事業では、毎年2億円前後の予算で、橋りょうを補修している。28年度は半川橋をはじめ5橋の補修工事を行うとのことでした。そのほか、市営住宅の耐震診断、耐震シエルト・防災ベッドへの助成事業などについて審議を行いました。

討論として、「三郷料金所スマートICの整備事業は大橋りょう維持事業では、毎型の通行に伴い、地域住民の生活環境や交通安全上、多くの不安を抱えるものであり、本予算には反対である」などがありました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。



市政に対する

# 一般質問

— 質問議員 —

篠田 正巳	佐藤 睦郎	菊名 裕	野村 徹
佐藤 裕之	鳴海 和美	村上海代子	逢澤圭一郎
佐々木 修	酒巻 宗一	加藤 英泉	和田 司
稲葉 春男	工藤智加子	森 忠行	

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり15人の議員が活発な論戦を展開しました。  
※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

## 親しまれる公園は防災・健康・民話を取り入れた公園から

**議員**

無数の星から星座をつくるようにつなげ物語にすると言われる。三郷市でも満天の星から星をつなぎ合わせて星座をつくるように数ある避難所をつなぎ、数ある公園をつなぎ、自主防災会をつなぎ、児童生徒をつなぎ、そして行政と市民をつなぎ合わせた防災力の強い星座（絆）ができることを期待する。そこで三郷中央駅前のおどり公園を拠点の1つとしてはどうか。また他市では高架下に保育園などがつくられているようだが、つくばエクスプレス高架下を利用して防災ショールームや帰宅難民の受け皿となる避難所施設の設置について伺う。

**まちづくり推進部長**

におどり公園を含む駅周辺のつくばエクスプレス高架下については、駐輪場や公園の一部として利用されている。防災ショールームや避難施設などの設置については、駅周辺以外の高架下で町会の防災倉庫や防犯パトロールステーションを設置し、有効に活用されている状況も



におどり公園での防災訓練

あることから、用途に応じて関係部局や鉄道事業者と連携を図っていく。

**その他の質問**

選挙啓発。

## 地域の力で

### 子育てサポート

**議員**

みさとファミリーサポートセンターは、子育てサポートを必要とするかた、サポートできるかた双方を会員として登録し、地域力で子育てをサポートする相互援助活動組織である。その役割は今後ますます重要になると考えており、さらなる利用拡大を図るための課題等を伺う。

**子ども未来部長**

サポート会員の主な活動内容は、保育所・幼稚園・

**その他**

財政政策。

習い事の送迎で、平成26年度の活動件数はのべ3870件である。平成23年度より緊急時や宿泊が必要な場合に備えて、緊急サポートセンター埼玉に業務委託している。平成27年12月末現在の会員数は提供会員177人、依頼会員1001人、両方会員74人の計1252人となる。また利用者双方との打ち合わせや会員登録を土日に行ってほしいとの要望がある。今後の課題としては、子育て援助活動における安全面、提供会員の不足、周知不足などがあげられる。引き続き利用者が安心して依頼できるよう事故防止のための体制強化、講習充実、アドバイザーとの打ち合わせ等を実施していく。



みんなで支え合う  
 みさとファミリーサポートセンター

## シルバー元氣塾の今後は

**議員** 平成27年度、鷹野地区文化センターにおいてモニター運営として午後7時から始まる10回シリーズのシルバー元氣塾が夜間に実施された。私も何度か参加し、毎回30人ほどの参加者が楽しんで受講していた。そこで、モニター運営を実施してどのような評価であったのか。その評価をもとにシルバー元氣塾の今後の対応、開催予定等を伺う。



シルバー元氣塾特別講座

**市民生活部長** 夜間コース参加者アンケートでは「体調が良くなった」「これで終わってしまうのが惜しい」などの感想をいただいた。平成27年度のシルバー元氣塾は、

日中コースが20コース、夜間コースが1コース、老人福祉センター等を会場にした65歳以上のかたを対象とした「ゆうゆうコース」4コースを開催した。このほかに町会・自治会主催のコース設置の取り組みを開始しており、この夜間コースも、今後、これらの体系の中で、総合的にとらえていきたい。なお、平成28年度は、ゆうゆうコースを1コース増加するほか、夜間コースについても引き続き、開催していく。

**その他の質問** 行政運営。

## 資金・債権運用等の状況は

**議員** 第4次三郷市総合計画前期基本計画が平成27年度で終わる。前期基本計画は将来都市像の実現のため、6つのまちづくり方針、それを支える4つの経営方針にまとめられ計画を進めた。この経営方針4に行財政基盤の強化があげられているが、平成22年度からの6年間での会計の資金運用、債券運用等について伺う。

**会計管理者** 例年4月から5月及び、10月から翌年3月頃まで、資

金不足が発生する状況が続いている。資金不足となる期間は、財政調整基金、介護保険給付費支払基金、常磐新線対策基金を繰替運用し、上水道事業特別会計から一時借り入れを行っている。さらに今年度は、金融機関等から一時借り入れを行う想定で準備をしている。また公金の運用は、財政調整基金等の歳計現金への繰替運用期間が1年の3分の2に及んでおり、1年を通じて基金等の現金を保有し続けられない状況であるため、国債等による運用は難しく、今後についても確実な方法で管理・運用していく。

**その他の質問** 子育て支援など。

## 豪雨災害対策としてタイムラインの策定を

すべきか」を明確にすることで、被害の最小化と復旧の短縮化を図ることができるとしている。そこで、三郷市独自のタイムラインを早期に策定することについて伺う。

**環境安全部長** 水害時の行動を事前に整理する手法として、タイムラインは大変有益であり、整備が必要であると認識している。これまで市は、内閣府が主催する首都圏大規模水害対策協議会に参加し、大規模な氾濫が発生する前の避難準備及び避難のあり方、発生後の応急対応のあり方等を検討してきた。また、タイムライン作成の前提として、水害対応チェックリスト（暫定版）を作成している。今後も国や県等の関係機関と調整し、大規模水害に備えたタイムラインの策定に向け、検討を進めていく。

**議員** 三郷市では台風・豪雨によって、道路冠水や床上浸水などの被害がたびたび発生しており、さらなる対策の強化が重要である。台風等の災害に対して、事前に防災に関わる各組織が協議し、時間軸に沿って対応行動を定めたタイムライン（事前防災行動計画）を策定し、「いつ」「誰が」「何を



## ひとり親家庭支援センターの設置を

**議員** 昨今、子どもの貧困が問題視されているが、親自身に対する包括的な支援が必要である。そこで、①ひとり親家庭支援センターを設置し包括的な支援を行うとともに、②ひとり親家庭自立支援、③支援パンフレット作成、④相談電話設置、⑤支援ポータルサイト作成について伺う。

**子ども未来部長** ①ひとり親家庭支援センターの設置については、総合的支援を一体的に行う必要性は認識しており、今後の検討課題としたい。②自立支援制度としては、母子家庭等自立支援教育訓練給付金と、看護師や保育士、介護福祉士などの資格を取得するため的高等職業訓練促進給付金がある。③ひとり親家庭への支援事業

等について一覧にまとめたパンフレットがある。市民に分かりやすい内容への改定や市民の目につきやすい場所、配布方法などを関係課と協議し、検討していきたい。④ホットラインの開設を含め研究していく。⑤ポータルサイトは子どもの貧困対策として国・県で作成予定であるため、その動向を注視していく。

**その他の質問** 保育所問題。

## 子どもの貧困対策に学習支援を

**議員** 子どもの貧困が6人に1人という調査結果が出されたが、三郷市の現状として、①貧困家庭の子どもは何人と推計しているのか。②小中学生の就学援助率はどうのように推移しているのか。③貧困状態にある子どもは、家庭環境や学力・健康・虐待・非行などの側面で不利な立場におかれ、貧困の連鎖も重くのしかかる。連鎖を断ち切り、将来の夢や希望がもてるようにするために、自治体が最も緊急に行うべきは学習支援にあると考える。県のアスポート事業

1か所だけでは不十分であり、子

どもの居場所としても早急に学習支援体制をとるべきではないのか。

**福祉部長** ①厚労省の調査結果である子どもの貧困率16・3%を三郷市にあてはめると3470人と推定される。③学習支援については成果が上がっていることから、子どもの居場所としても場所や手法を含めて検討していく。

**学校教育部長** ②就学援助率は11%から12%で推移している。  
**その他の質問** 子育て支援など。

## 半田地区の土地区画整理協議の状況は

**議員** ちらばーと新三郷等がオーブンし、6年半。周辺の商業施設と一体で都会を形成しているが、駅や線路を挟んだ反対側の半田地区の光景は奇異である。新三郷駅周辺半田地区土地区画整理事業協議会に対して、平成26年度50万円、27年度350万円、28年度も同額の補助金が市の予算に計上されている。補助金の額からして、かなりの頻度で協議が重ねられていると推測するが、協議の進捗状況について伺う。また半田・采女地区

は大雨のたびに浸水、冠水が起こる。吉川美南駅北側一帯が区画整理等により整備されると、さらに被害の懸念が残る。市の主導で土地区画整理事業に取り組み、浸水・冠水をなくし、三郷市のイメージと資産価値の高揚に努めるべきではないのか。



半田地区のまちづくりは

**まちづくり推進部長** 平成27年度は、協議会内に作業部会を設置し、土地利用計画図(案)作成や概算事業費の算出が進められた。平成28年度は、事業収支の検討を進め、概算減歩率を算出のうえ、地権者を対象とした土地区画整理事業に対する意向確認が行われる予定である。今後も、半田地区のまちづくりに対して、引き続き支援していく。

**その他の質問** 交通問題など。



## 上口調節池複合化による 公園部分の活用を

**議員** 上口調節池の複合利用化による陸上競技場の整備が進んでい

る。完成すれば小中学校陸上競技大会や市民体育祭の開催など、大規模なスポーツ大会が可能となる。また2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの練習会場としての利用も期待できる。中でも公園部分は、約3・6ヘクタールの広大な面積で市民の期待も大きい。そこで周辺環境への影響も少ない公園の活用として、ボール遊びのできるスペース、



工事が進む上口調節池

3on3、フットサルコート、ドッグラン、スケートボードパークなどの人気のある施設を設置し、にぎわい創出をしてはどうか。

**まちづくり推進部長** 公園部分の

設計に関しては、一般的な遊具を設置した遊び場空間とするのではなく、他ではできないレクリエーションのニーズにも応えられる公園計画ができないか検討している。この公園を利用するかたが何を求めているのか、人々の満足が得られるのかを考え、公園整備に取り組んでいく。

**その他の質問** 教育問題。

## 市営住宅の戸数の拡大を

**議員** 住宅に困窮している市民に

対して行政として、セーフティネットの役割を果たすことは重要である。現在の人口規模に見合う市営住宅戸数を、民間の賃貸住宅を借り上げる方式で、整備拡充することについて伺う。

**建設部長** 民間住宅借り上げ方式

は、民間の土地所有者などが建設した賃貸住宅を公営住宅法に基づき市が公営住宅として借り上げ、

所得の低いかたでかつ住宅に困窮している市民に低廉な家賃で住宅を提供するものである。市が直接建設する場合や買い取りの場合に比べると、土地を取得する必要もなく、建設費など初期費用の大幅削減により効率的な手法として考えられている。市営住宅である武蔵野団地、横堀団地、大広戸団地は、常に満室の入居となっており

建設から40年を経過して建物の老朽化が進んでおり、住環境整備を図りながら維持管理に取り組んでいる。今後、既存施設の建て替えや施設運営の両面において、公営住宅の施策の中で様々な手法や方策を含めて調査・研究していく。

**その他の質問** 防災問題。

## マタニティタクシーの

## 導入を

**議員** 出産に係る病院への搬送に

ついて、救急車の利用は状況によるとのことである。一方で、現在マタニティタクシーという民間事業者のサービスが全国的に広がっている。このサービスは、出産を控えた女性がタクシー事業者に事前登録をすることで、陣痛や破水

等の症状が出た時、24時間365日、救急講習を受講した乗務員が病院まで送り届けてくれるサービスである。核家族化の影響等で夫の仕事で一人になってしまふといったケースや、若者の車離れが進むなか、女性が安心して出産できる環境を整えることが求められている。行政からの補助も含め、タクシー事業者と協力のもと、新たな事業を展開すべきではないか。

**市民生活部長** 市内のタクシー会

社の中には、自力で歩けることや意識がはっきりしているなど、利用時の状況により、陣痛時の乗車を受け入れているところもあると聞いている。今後、妊婦の実情やニーズ、タクシー会社の事情、救急搬送の内容なども含めて実態を総合的に把握・研究していく。

**その他の質問** まちづくり問題。





市民の声を聞いて  
市政に反映を

議員

昨年、日本共産党三郷市議団では市民アンケートを実施した。市政に要望する第1位は介護保険料の引き下げ、第2位は国民健康保険料の引き下げ、第3位は原発ゼロ・自然エネルギーの活用、第4位は市県民税の引き下げ、第5位は道路・歩道の整備で、暮らしを何とかしてほしいという要望が上位を占めていた。市民の声を聞くという点で、①国民健康保険料の引き下げ、②原発再稼働中止、自然エネルギーの活用、③地域経

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページ又は、市役所の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

※「会議録速報版」は校正前原稿のため、正式な会議録ではありません。

三郷市議会 会議録

検索



北分署に設置の太陽光パネル

済発展のため耐震に限らない住宅リフォーム拡充をどのように考えているのか伺う。

市民生活部長

①今後も厳しい財政運営が予想され、保険料の引き下げを行うことは困難である。

企画総務部長

②原発再稼働については政府のエネルギー政策を注視していく。

環境安全部長

②循環型社会の構築を目指し、自然エネルギーの活用促進に向けた取り組みを推進していきたい。

産業振興部長

③住まいの安全性向上のためには、耐震改修が重要であり、今後も耐震改修に付随するリフォーム補助事業を継続していく。

その他の質問

環境整備。

トピックス

議案第29号 平成27年度三郷市一般会計補正予算（第4号）

◇国の地方創生加速化交付金を活用

〔内容〕国の交付金を活用し、三郷市では、「産業基盤創出・戦略的交通再編で構想する企業に選ばれるまちづくり」「きらりとひかるシティプロモーションと三郷学で構想する人に選ばれるまちづくり」の2事業の関連補正予算として新年度予算と一体的にまちづくりを加速化していきます。

【三郷市での主な取り組み】

- ・北部地区基盤整備の検討と北部地区公共施設等再配置計画の策定
- ・三郷市をPRするためのプロモーション映像の作成
- ・地域公共交通再編のための基礎調査実施
- ・今後の産業振興育成を図るため、消費者と製造業者への調査
- ・日本一の読書のまちPR冊子の作成や図書室の充実、市史資料のデジタル化

▶本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 三郷北部地区公共施設等再配置計画は具体的にどの地域を対象としているのか。

答 新三郷駅周辺を中心とした調査である。市はその結果をもとに公共施設等総合管理計画と連動させながら北部地区の公共施設のあり方をまとめていく。

問 日本一の読書のまち推進事業の読書のまちPR冊子は何部作成して、どこに配布するのか。

答 2,000部作成し、市内の図書館や公共施設、近隣市の図書館や県立図書館に配布する予定である。



日本一の読書のまちづくりをPR

# 3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対 △=棄権 数字=賛否が分かれた場合の人数

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	無所属
1	交通事故に係る損害賠償額の決定及び和解について	可決	○	○	○	○	○	○
2	三郷市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○
3	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○
4	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○
5	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○
6	三郷市行政不服審査会条例	可決	○	○	○	○	○	○
7	三郷市行政不服審査会関係手数料徴収条例	可決	○	○	○	○	○	○
8	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
9	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
10	三郷市職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
11	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
12	市長及び副市長の給与等に関する条例及び三郷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
13	職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
14	三郷市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
15	三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
16	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
17	三郷市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○
18	三郷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例及び三郷市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
19	三郷市児童発達支援センター設置及び管理条例	可決	○	○	○	○	○	○
20	三郷市保育所設置及び管理条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
21	三郷市下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
22	三郷市屋外広告物条例	可決	○	○	○	○	○	○
23	三郷市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
24	三郷市いじめ問題対策連絡協議会条例	可決	○	○	○	○	○	○
25	三郷市いじめ問題調査委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○
26	三郷市いじめ問題再調査委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○
27	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
28	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	可決	○	○	○	○	○	○
29	平成27年度三郷市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○
30	平成27年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○
31	平成27年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○
32	平成28年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
33	平成28年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
34	平成28年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
35	平成28年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
36	平成28年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
37	平成28年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
38	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
39	学生が安心して使える奨学金制度を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	○

※このほか報告5件が提出されました。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙を行いました。

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(6)	市川 文雄(議長)、菊名 裕、岡庭 明、野村 徹、逢澤 圭一郎、加藤 英泉
政志会(3)	篠田 進、佐藤 裕之、佐々木 修
公明党(5)	酒巻 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(3)	稲葉 春男、工藤 智加子、和田 司
市民派クラブ(2)	篠田 正巳、村上 香代子
無所属(1)	森 忠行

※議長は採決に加わっていません。



# 国・政府に要望

3月の定例会では1件の意見書を提出しました

## 議案第38号 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

### 〈要望事項〉

1 児童虐待の発生を予防し、妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。

また、孤立しがちな子育て家庭へのアウトリーチ支援を強化するため、子育ての不安や悩み等を抱える家庭への養育支援訪問事業やホームスタート（家庭訪問型子育て支援）事業を全ての自治体で実施できるようにすること。

2 児童相談所全国共通ダイヤ



ヤル「189」の更なる周知を図るとともに、児童相談所につながるまでに数分しかかっている実態等を早急に見直し、通報しやすい体制を整えること。また、通報に対し、緊急性の判断や関係機関との連携を的確に行える体制整備にも努めること。

3 児童虐待が発生した場合、迅速かつ的確な初期対応が行われるよう、児童相談所の体制や専門性を抜本的に強化すること。特に児童福祉司、児童心理司、保健師等をはじめ職員配置の充実、子どもの権利を擁護する観点等から弁護士等の活用等を積極的に図ること。

4 学校や医療機関、警察等関係機関における早期発見と適切な対応を図るため、児童相談所と関係機関との間における緊密な連携体制を再構築すること。特に、警察と児童相談所においては、虐待の通報を受けた場合、虐待の有無にかかわらず、情報共有を図ること。

5 一時保護所における環境改善を早急に図るとともに、量的拡大を図ること。

また、里親や養子縁組を推進し、家庭的養護のもとで子どもたちが安心して養育される環境を整えること。

6 被虐待児童について、18歳を超えても引き続き自立支援が受けられるようにするとともに、施設退所後や里親委託後の児童等に対し、きめ細かなアフターケア事業を全国で実施すること。

### 「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



## 議会を傍聴しませんか

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴を試してみませんか。

傍聴日時：議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

※詳しい日程は議会事務局にご確認ください。

傍聴場所：市役所の7階にあります。(傍聴席60席うち車椅子席3席)



手話通訳者または要約筆記者を依頼することができます

### 【平成28年6月定例会の日程表】

※正式には、市長の召集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

月日	曜日	会議別
6月1日	水	本会議
6月3日	金	
6月6日	月	委員会
6月9日	木	本会議 (一般質問など)
6月10日	金	
6月13日	月	
6月14日	火	

本会議の当日、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで自由に傍聴ができますが、次のことを守っていただきます。

- (1) 騒ぎ立てたり、拍手をするなど、議場への迷惑となるような行為をしないでください。
- (2) みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3) 携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。
- (4) 飲食又は喫煙をしないでください。
- (5) その他、議場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないでください。

※傍聴される方は、すべて議長、又は係員の指示に従ってください。

●次回の定例会は6月に開かれます。10時から開会となります。

# わたしも ひとこと

## 安心・安全なまち

無職 40代 三郷在住

高校生まで三郷に住んでいた同級生と久々に三郷駅で待ち合わせをした。「何だか相変わらず地味で寂しい、さびれている。新三郷は変わったのに、こちらは活気ないね。」と都内に住む彼女。

私自身、生まれて43年三郷に住んでいる。結婚を機に南部から通勤通学に便利な駅前に移り住んで20年経つが変わり映えしないのは確かだ。銀行、スーパー、郵便局、図書館など日々の生活には、まあ満足しているが、長年住んでいて常に思うのは、歩行者を第一に考えた道路整備が進んでいないことだ。障がい者、子ども、お年寄りの方々が安心して歩けるような道路整備を望んでいる。

## 品格あるまちづくりを！

自営業 60代 戸ヶ崎在住

大空に棚引いていた鯉たちもどこかに泳ぎ去り、静かに開けた5月の青空が緑眩しい季節を運んできた。立夏末候の頃（新暦では5月15日～20日頃）。喧騒の大公休の後、田植えも終わっているのに蛙の声が聞こえないのが少し寂しい。

わがまちは1965年頃から都市化が始まったように思う。特にここ数年の激変には目を見張るものがある。豊かな地域の発展には、目に見えるハード面と共に即応する教育・文化というソフト面を充実させていく必要があるのではないだろうか。次世代に続く品格あるまちづくりを目指して議会人の薫陶を期待したい。



25名が入団した少年消防クラブ

## 議会あれこれ

### 陳情を受理

○3月定例会では、陳情28件を受理しました。

### 視察研修を行いました

○「公明党」：1月28日に京都府城陽市の「空き家バンク制度」、29日に京都市の「ひとり親家庭支援センター」及び「子育て支援総合センター」について。

○「21世紀クラブ」：2月3日に長崎県長崎市の「歴史文化を育むまちづくり」、4日に五島市の「EV、ITSシステム」、5日に大村市の「地場産業の振興」について。

### 他市からの行政視察がありました

○「三郷中央えきちか子育て保育事業」について：1月15日に宮城県塩竈市議会民生常任委員会。

○「公共施設及び土地区画整備事業の現況や課題など」について：1月22日に長野県安曇野市議会信誠会。

○「地域健康づくり推進事業及びふくし総合支援事業」について：2月1日に大阪府八尾市議会市民クラブ・柏原市議会市政クラブ。

○「日本の読書のまちづくり」について：2月4日に山形県上山市議会創志会。

みさと市議会だより(第165号)  
発行 三郷市議会  
編集 議会だより編集委員会  
〒341-8501  
埼玉県三郷市花和田648-1  
TEL 048-9300-7768(直通)  
FAX 048-9530-11358  
URL <http://www.city.misato.lg.jp>

